



あさまる通信

第7号 2月

発行：習志野販売株式会社
〒275-0016
千葉県習志野市津田沼5-11-10 吉田ビル3F
TEL 047-454-2355 FAX 047-454-2357
URL http://www.asamaru.com/
E-mail info@asamaru.com

E-mail アドレスが変更になりました。(右記参照) 平成14年1月25日(金)発行

■歳時記

『如月(きさらぎ)』
更衣、衣更着とも書きます。寒さが続き、着物を重ねる月という意味です。また、木草張(きくさはり)の月がなまったものだという説もあります。

『節分(せつぶん)』

今年(今年)は二月三日が節分、そして四日は立春です。現在は、立春の前日のことを節分とよんでいます。本来節分とは季節の変わり目のことで1年に4回ありました。季節の変わり目である節分には、悪魔や病魔が横行すると考えられ鬼をはらう豆まきが行われるようになりしました。旧暦では立春が年の初めだったので、「正月節」ともいいます。室町時代からは特にこの時期の節分を重んじるようになりました。



『豆まき(まめまき)』
豆まきでは年男(その年の干支に生まれた男子)あるいは一家の主人が「福は内、鬼は外」といいながら煎った大豆をまきます。そして自分の年の数だけ豆を食べ、1年病気になるな事を願います。また妊婦がいる家庭ではこの豆を安産のお守りにもします。もともと宮中の行事が一般家庭に普及したものとされますが、最近は大きな神社などで芸能人やスポーツ選手などを招いて豆まき大会をやっているケースが多くなりました。

『節分(せつぶん)』

豆まきの豆について、重要なことは、煎り豆を使うということです。万一生豆を使って、拾い忘れたものから芽が出るとよくないことがある、とされているからです。大豆だけでなく、近頃では、地元千葉



産の「ピーナッツ」などを使ったのもいかがでしょうか。

『立春(りっしゅん)』
立春というとすぐ暖かくなるような気がしますが、まだまだ寒い日が続きます。東京での気温を調べて見ると、一日の最高気温が立春をさかに少しづつ高くなります。明日から突然春にはなるというわけではありませんが、温かい日と寒い日をかえりながら、三月の春本番をむかえるのです。このように、寒い日が3日間続き温かい日が4日続く様子を『三寒四温』と言います。もともと中国の東北区や朝鮮半島で使われていた言葉ですが、ちょうど1週間で天気の変化が繰り返される様子を表現しています。

◆旬の食材『苺(いちご)』

昔は春から初夏に見られる果物でしたが、需要増加に伴う栽培方法の変化や品種改良によって、最近では11月頃から店頭で並ぶ物もあります。いちごはレモン同様にビタミンCを多く含んでいます。血管や骨、コラーゲンの生成を促し、免疫力を高め、日焼けを防止したり鉄分の吸収を助けるなどの効果があります。また、疲労回復や風邪の予防に効果があるクエン酸も多く含まれています。



『甘酸っぱいいちごのソース』
■材料 ①いちご 400グラム ②ワインビネガー 大さじ4 ③ブランデー 大さじ5 ④グラニュー糖 小さじ2 ⑤塩 少々
■作り方 ①いちごは裏ごししてピューレ状にします。②フライパンにワインビネガーとブランデーを入れて、1分程度火にかけます。③いちごのピューレとグラニュー糖、塩を入れ、さらに1分煮て味を調えます。お肉や魚のソースにとつて。

あさまる info

●節分・豆まき

日時 2月3日(日)
午前10時～
場所 袖ヶ浦西近隣公園
連絡先 袖ヶ浦公民館
☎451-6776



●津田沼フリーマーケット

日時 2月10日(日)
場所 京成津田沼駅前ロータリー広場

●第34回 習志野市みんなの消費生活展

日時 2月15日(金)～17日(日)

場所 習志野サンパデック4階ホール、1階センターモール
連絡先 消費生活センター ☎451-6999
2月12日(火)、13日(水)の午前10時～午後3時まで、サンロード5階和室にて、家庭に眠っている衣類・生活用品全般(食糧品・電気製品は除く)を募集します。

●チャリティー餅つき大会

日時 2月24日(日)



場所 習志野サンパデック

連絡先 習志野青年会議所 ☎477-7738

＜チケット情報＞

～谷桃子バレエ団「白鳥の湖」～

公演日 平成14年7月13日(土)

場所 習志野文化ホール

前売り 2月12日(火)10:00より

問い合わせ先

ならしの子ども劇場事務局 ☎451-3676

※皆様からの情報お待ちしております。

上記、習志野販売までお気軽にご連絡下さい。

■特集「どんど焼き」

小正月に門松やしめ飾り、枝に差しただんごや餅等を焼く行事をどんど焼きと言います。どんど焼き、さざちよう等、いろいろ呼び名があります。体に火を当てたり、焼いた餅を食べたりすると、若返りや健康に良いと云われています。

この習志野市袖ヶ浦地区においても、7年前から年末年始の行事として「どんど焼き」が行われています。1月12日に行われたどんど焼きは、習志野第三中学校の生徒による「ふうことんどん焼き」の紙芝居、袖鼓連による「馬鹿面踊り」、白装束に身を纏った仙人による火の神の儀式など、多数の演出のもと大いに盛り上がりました。



実行委員長の葛岡篤さんにお話を伺ったところ、どんど焼きは「週休5日制」による、子供たちの学びの場を作ったり、地域の方々が顔を合わせる機会を増やそうとの考えから始められたそうです。

このように伝統行事を大切にすることで、何かを学ぶ機会が増えれば、と葛岡さんはおっしゃっていらっしゃいます。今ではすっかり袖ヶ浦地区の恒例行事として定着してきました。このような地域行事が、他地区にも根付くといいですね。



◆経済時事用語

『ユニバーサルデザイン』

階段に手すり、バスの出入口に昇降用リフトを設置するなど、高齢者・障害者が安心して暮らせる環境をつくることをバリアフリーと呼びます。このような誰でも利用しやすいデザインを製品に取り入れたものを「ユニバーサルデザイン」と言います。私たちの暮らしが快適に過ごせるため、広く望まれているデザインです。

編集後記

読者の皆様、遅まきながら明けましておめでとございます。本年も習志野販売「あさまる通信」をよろしく願っています。
(編集k・k)

♡読者プレゼント

今回は2つのプレゼントをご用意致しました。朝日新聞朝刊に連載されている『花おりおり』が、朝日新聞社出版にて一冊の本として発行されました。内容は身近な木や草の花々を紹介する写真と一口コラムです。文章を湯浅浩史氏、写真を矢野勇氏の手がけた花の世界をどうぞ堪能下さい。



この本は、今回は60名様プレゼント致します。ご希望の方は、上記住所・氏名・電話番号と感想を明記の上、ハガキ・FAXまたはEメールにて、一プレゼントにつき一通で応募ください。応募多数の場合には抽選の上発送を持って発表とさせていただきます。尚2月5日到着分まで有効とします。